

東京都立武蔵高等学校
同窓会事務局



有線七宝蓋物「柏葉」
(平成6年第41回日本伝統工芸展入選作品)

石坂久美子
7回生(S30年卒B組)

同窓会総会・懇親会のお知らせ

日 時：6月6日(日) 午後1時より受付
午後1時30分開会
場 所：武蔵野スイングホール(武蔵境駅北口2分)
催 事：総会後、柳 貞子コンサート
懇親会：レインボーサロン(11階)
会 費：一般会員 2,000円
学生会員 1,000円
本年度卒業生 無料
出 欠：出席の方は、同封の返信用はがきでご連絡
ください。



武蔵野スイングホール

武蔵野スイングホールでお会いしましょう

同窓会会長 土屋 正忠

都立武蔵高校卒業生の皆さん、それぞれお健やかに過ごしのことと存じます。

おかげさまで同窓会は、会員数も平成10年度末には20,561人となり、ますます活発になってきております。昨年の総会は、会場を母校から移し武蔵境駅前のスイングホールにて、第一部を総会とアトラクション、第二部を11階のレインボーサロンでの懇談という形を取りました。初めての試みでありましたが、200人を超える会員の方々にお集まりいただき大盛会でした。第一部では古今亭右朝さん（第19回生、本名田島道寛さん）のボランティア出演により、1時間にわたって江戸落語を聞くことができました。本年も昨年と同様にスイングホールで開催致します。今回は、日本でのスペイン歌曲の第一人者、柳貞子さん（第2回生）のステージを楽しみたいと企画しました。どうぞお誘い合わせの上ご参加くださいますよう、役員一同お待ちしております。

さて、同窓会の最大の役割は、会員同志の親

睦・ネットワークとともに後輩たちの支援にあると考えます。母校都立武蔵高校は全面改築の計画が進行中であります。これは基本的には東京都が責任を持って行うものですが、同窓会としてもできることがあれば、全面的にご協力申し上げたいと、学校とも連絡を取り合っています。また、山岳部卒業生の皆さんのご尽力により大菩薩峠の山小屋も改修が進んでいます。昔は下の裂石から歩いて数時間掛かりましたが、今は山岳ドライブで山小屋の近くまで車で入れます。どうぞお気軽にご利用ください。ご利用の際は、山岳部OB会事務局（13頁記事参照）までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

では、来る6月6日、武蔵境駅前スイングホールでお目にかかりましょう。



声を掛け合って同窓会に全員集合!!

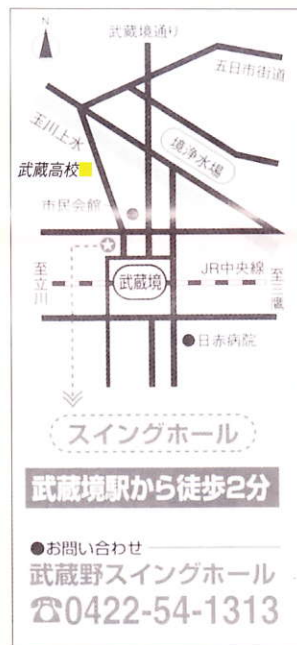
—柳 貞子ミニ・コンサートもお楽しみください—

6月6日(日) 午後1時受付開始
午後1時30分開会

昨年、初めて会場を武蔵野スイングホールに移して開催した同窓会は、皆さんに大好評をいただきました。会場が駅から2分と便利になっただけでなく、アトラクションもたいへん喜んでいただけ、卒業したばかりの新入会員も多数参加されて、若さで会場の雰囲気を盛り上げてくださいました。

懇親会終了後、ほとんどの期が二次会を開き、夜の更けるのを忘れて談笑、カラオケなどで盛り上がっていたそうです。

今年のアトラクションは、柳貞子さんのミニ・コンサートです。皆さん御存じの『セビーリヤの子守歌』『グラナダ』『ラ・パロマ』日本の歌曲の他、スペインやロルカのお話しもまじえてお楽しみいただけることでしょう。



平成10年度 第52回同窓会総会・懇親会

(平成10年6月7日)

史上初！

**200人を超える参加で
大盛況！！**

武蔵境駅から2分と、地の利のよい武蔵野スイングホールで行われた第52回都立武蔵高校同窓会総会は、200人を超える会員の参加を得て、熱気あふれる大盛会になりました。アトラクションに行われた古今亭右朝師匠の江戸落語も、武蔵時代の学生生活をまくらに振っての軽妙な語り口に、会場は笑いの渦に包まれました。

11階のレインボーサロンに会場を移しての懇親会も、武蔵野市内で一番と言われる眺望を満喫しながら、会場のあちこちで会員の大きな輪ができ、歳を忘れた明るい笑い声が聞こえてきました。



熱気あふれる総会になりました



挨拶をする土屋会長



受付も行列ができるほど



食べ切れないほど豪華なお料理が…



新入会員も参加しました



熱演中の古今亭右朝師匠

清水真帆さん

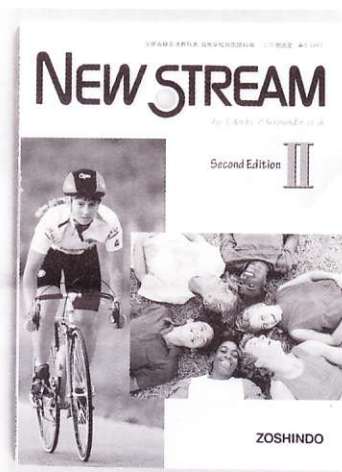
42回（B組）卒業の清水真帆さんはお茶の水女子大学在学中に白血病を発病し、平成5年12月、3年間の闘病の後亡くなりました。その闘病中に、彼女が何をし、どう生きたか、「The Legacy of a Brave Woman（勇気ある女性の遺したもの）」と題して、平成11年度から使用される高校の英語科の教科書（増進堂）に掲載されました。

白血病に骨髄移植という治療法がかなり有効で、骨髄バンクのあることも、最近では、多くの人が知っています。しかし、彼女が発病した頃は、まだあまり知られていませんでした。彼女は自身の発病をきっかけに、この骨髄バンクを知らせる活動に積極的に取り組み、明るい笑顔でポスターのモデルにもなっています。やがて、彼女から友人・家族を中心に運動が広がり、MahoNET-21という骨髄バンクを支える組織ができました。

同窓生にも知ってほしいと、当時、彼女から寄せられた原稿が会報29号に掲載されています。

教科書は、彼女のこのような活動はもちろん、病名を告知されてからの口癖が「Don't worry, I'll manege. (心配しないでなんとかなるから)」で、亡くなる直前の言葉は「Thank you, thank you, I would like to say it countless times, to countless people. (ありがとう、ありがとう、ありがとうと数え切れないほどの人たちに、数え切れないほど言いたい)」だったこと、治療の副作用で髪が抜けても、「銀座で、スキンヘッドだと思って写真を撮らせてほしいと頼まれちゃった」と朗らかに話したエピソードなども含め、明るく積極的に生き抜いた様子を伝えています。出版社は、「骨髓バンクを知ってもらっただけではなく、真帆さんの前向きで優しい生き方を高校生に感じ取ってもらい、生きる素晴らしさや生きると言うことについて考えてほしいとの願いから」と掲載の意図を語り、掲載を了承し協力されたご両親も、「逆境に立ち向かったひとりの例として、読んだ人の元気のもとになったら」と言っておられます。

ご覧になりたい方は、母校図書室の「同窓生の
図書コーナー」で。



関塚先生が写真展開催

生物の関塚先生が、深大寺近くのギャラ
リー喫茶で写真展を開かれます。ぜひご鑑
賞ください。

関塚 正 武蔵野の面影展

(1962年～1997年にわたる風景の記録)

期間：1997年7月17日(土)～25日(日)

場所：グリーンホビー

第二の故郷便り

舞踏家・田中泯さん(15回A組)を訪ねて

～原点は盆踊り小僧～

甲州街道を昇仙峡方面へ折れ、山村を奥へ奥へと辿ると、やがて山梨県中巨摩郡敷島町上芦沢。小さな案内板を頼りに急坂を上ると、そこには「舞踏資源研究所」がありました。

なぜ、こんな狭い斜面に舞踏家が…？ と戸惑っている私たちの前に田中さんが現れました。

舞踏家・田中泯さん。高校時代の名前は田中捷史さん。長い足でバスケットコートを走っていた素敵な人は、35年以上も経った今も、ずっと背筋を伸ばした姿のやはり素敵な先輩でした。

14年前に白州町に舞踏の拠点を置き、農業とともに活動してきました。そして、現在この地で「斜面の芸能」と呼ぶ舞踏のフィールド・ミュージアム構想を実現中です。

人が住まなくなった農家を改修し、踊る場、稽古場、宿泊所を作る。世界中の踊りに関する膨大な資料を納める図書館。耕す人がなく雑草だらけの畑を果樹園や茶畑にする。赤く北欧風に塗り替えた農家が斜面に点在して、この辺り一帯が山も谷も含んだミュージアムに変わっていきこうとしています。

つい先日、近所のお年寄りを招いて踊った広間がありました。古い農家が踊りの場です。その縁側に座って、田中さんの静かな声に耳を傾けていると、山の日差しや風に心がとけ込んでしまいそうでした。

「盆踊り小僧」と呼ばれていたほど好きな「盆踊り」が、田中さんの踊りの原点のようです。



高校時代の続きでバスケットをやろうと思った大学の途中「盆踊り小僧」の血が騒ぎ、踊りの世界に入っていました。



田中さんの話によると、「踊りの遺伝子」というものを人間は持っているそうです。田中さんの場合、それがとても活発に作用したのがちょうど大学時代だったのでしょう。

それ以来、ジャンルにとらわれない自分の踊りを求めてきました。自分を見つめて、心の奥深いところから沸き上がってくる衝動のままに踊ること。これが田中さんの踊りではないかと私は感じました。

田中さん自身は「出鱈目です」と表現されましたが、とても意味深い言葉で、ぜひ田中さんの踊りを目の当たりにしたいと強く思わせるひとことでした。

日本にいるのは1年のうち4カ月くらいと、世界中へ田中さんは踊りに行きます。そして、世界中から田中さんのもとに人が集まってきます。

自宅にいるのはわずかな田中さんが、3人の子供たちに「がむしゃらに生きていく姿を見せるだけ」と、父親としての心情を語ってくれました。高校時代の同級生だった夫人とともに、強い信頼で結ばれたとても個性的な家族なのでしょう。

今日の出会いが終わる頃、田中さんはこう言いました。「最近、私は死なない気がします」。

自ら「泯」と名付けた人は、水の民となって、心のおもむくままゆったりと流れていき、住んでみたいと言っていたマダガスカルでずーっと生き続けていくのかもしれませんが。もしかしたらゾウガメになっているかも…。

桜と桃の花が咲く、夢のようなひとときでした。

ク ラ ス 会 ・ 同 窓 会 便 り

◆ 高校 3 回 (26 年 卒) 同期会 ◆

その日、平成10年(1998年)4月18日は晴れて暖かい日となりました。前日まで雨でやきもきさせられましたが、当日はラッキー!な同期会日となりました。私ども武蔵高校3回生は、昭和20年、第二次大戦末期の春に入学して間もなく終戦を迎え、昭和26年に卒業した、かけがえない仲間たちなのです。

帝国ホテル17階のレインボーラウンジには60名余の懐かしい顔が集まりました。さらに、赤津先生、昆布谷先生、林(裕次)先生、原田先生、三神先生、吉田先生のご参加もいただけてうれしいことでした。卒業して47年になりますでしょうか、一人ひとりそれぞれの人生があったはずですが、でも、集まれた方一人ひとりが皆、美しく年を重ねられていることに感動いたしました。

次回はA組の幹事になります。さて、どんな対面が待っていることでしょう。



◆ 高校 8 回 (31 年 卒) B 組 クラス会 ◆

1998年5月の初旬、「私たちが気がつけば長寿のお祝い年に達しました。十二支、十干ひとまわり、還暦です。人生の節目を共に祝い、美酒を飲み…」とクラス会の案内が届きました。5月31日、川越の「福登美」に大滝先生と25名の懐かしい顔が揃いました。

クラス会常連も10数年ぶりの友も、一瞬、誰だっけ?と思ひ出せない顔も、笑顔になれば昔の面影そのまま。ただし、その席で

が2カ月前に亡くなられたことを知り(60歳まで誰ひとり欠けない仲間と思っていたので少々ショック)、会の初めに全員で黙祷し、冥福を祈りました。

宴が始まると幹事の佐、の3名は赤いチャンチャンコを着て会を盛り上げ、また、参加者も皆赤いチャンチャンコ姿で数名ずつ写真に納まるという見事な演出で、記念クラス会にふさわしいにぎやかな会となりました。

その後、全員で小江戸、川越を散策し、「時の鐘」近くでさつまいもビールやいもソフトも味わい、駄菓子屋横丁で童心に返り…と、たっぷり1日、昔の少年・乙女に返りました。

今度は1999年の秋に20世紀最後のクラス会が開かれる予定です。8回生3Bの皆さん、全員出席目指して今からスケジュールを空けておいてください。熟年パワーを全開させて、食べて飲んでおしゃべりしましょう。再会の日を楽しみに…。



大菩薩ヒュッテ

●ヒュッテ大改築●

昭和31年に誕生した我々が大菩薩ヒュッテも、今年で43歳の働き盛りでありながら、近頃あっちこっちガタがきて、この3年来内装のリニューアルに多大の労力を費やしてきました。

特に山岳部OB会幹事会諸氏の努力には、紙面を借りて改めて謝意を表します。

努力の甲斐あって、壁面および天井部分は写真のとおり完全に面目を一新しました。

特に天井を貼ったことによって保温効果が大変上がり、冬の小屋生活がかなり快適になりました。

次はいよいよ長年の懸案であった炊事場の大改築に取り組むことになっています。

この炊事場の改築については、同窓会の特別積立金から150万円の寄付をいただき、これを材料費にあて、労働力はプロの大工1名と山岳部OB会のおじさんたちのボランティアに頼り切ってしまうという計画です。

もちろんプロの大工には日当を払うつもりではありますが、この大工がたまたまOB会事務局長の友人であったことが幸いし（大工にとっては災

いし）、特別安いというか、ただに近すぎるというか、とにかく甘言を弄して小屋まで連れてきちゃえば後は人里離れた山の中、軟禁状態にして奴隷としてこき使ってしまう、という恐ろしい企

てが着々と進行しているのであります。

また、この恐ろしい計画は5月の連休に大まかなところを済ませ、その後5月一杯かけて完成させる予定になっていますので、例年連休明けから予約を受け付けていますが、今年は6月になってからの予定です。

さて、改築後の炊事場は次ページの図のとおりにするつもりではありますが、なにしろ船頭が多いのがわが山岳部の伝統でもありますから、実際にどのようなものになるかというのは出来上がってみないと定かでないところが多分にあります。

主な変更点は、

- ①現在の炊事場を西側に3尺（古いなー）拡張し、
- ②内流しを2カ所にし、
- ③配膳台兼調理台兼テーブルを設置し、
- ④炊事場から直接南側のベランダに出られる廊下を新設します。

これによって、炊事場は二組のグループが同時に調理することもできるようになります。

……という環境庁をも恐れぬ大胆不敵な大増築計画なのであります。

大菩薩ヒュッテでクラス会を

山岳部OBを始め、OBのボランティアの方々の大活躍によって、ヒュッテの居心地はますます良くなっています。

春の山菜から秋の茸まで、季節の味覚を楽しみ

に来てください。

山岳部OB会的小屋番がおもてなしいたします。
お申し込み先：山岳部OB会事務局

URLは<http://www2u.biglobe.ne.jp/~d-hutte/>



レコードに刻み込まれた 武蔵生時代

季節が夏本番を迎えた頃、朝の授業開始前や放課後には、あちらこちらの教室から歌声が響きわたっていた。毎年恒例の音楽祭（全校合唱コンクール）に向けての、各クラスでの練習である。自分たちで曲を選び、練習の時間や場所を見つけて、クラスの個性を生かした音楽を築いていった。

いよいよ、当日。そして、本番。どのクラスも舞台の上で、それまで精一杯頑張ってきた成果を熱演していた。1カ月余りにわたる努力の結晶は、一人ひとりの胸の中に刻み込まれたのである。

思い出として残されたのは、心の中だけではない。合唱の歌声は、1枚のレコードに収録されていた。3年生全クラスと、1、2年生の優秀・優良クラスの歌が、生の声として録音された。武蔵高校オリジナルレコードである。高校を卒業してから何年も過ぎた今でも、時々それを聞くことがある。何度聞いても懐かしく、3年間の高校生活のいろいろな場面（授業、クラブ活動、文化祭、体育祭など）が、自分自身の頭中のビデオテープ



に次々と再生されるのである。

レコードの中に、当時（1986年度）の3年生のクラスが発表した「都立武蔵高等学校校歌（混声五部）」が含まれている。2分30秒余りの中に、3番まで合唱されている。筆者自身も、校歌がすごく好きだ。山が好きであることもあって、特に2番の最初の部分「漂う雲に、秩父は晴れ…」が印象に残っている。この部分を聞くと、2年生のホームルーム合宿で行った大菩薩峠から、山岳部で登った数々の山の風景までが思い出される。校歌というと、生徒手帳に載っていて在学中に数えるほど歌うだけということが多いが、武蔵生が歌ったレコードでいつでも聞けるのである。

毎年の合唱コンクールが収録されたレコードは、卒業アルバムと合わせて高校生活を生き生きと映し出していると言っても過言ではない。そして、それを聞く人によって、その人それぞれの武蔵生時代が脳裏に思い浮かべられることだろう。

平成10年度大学合格者一覧表（平成11年度4月12日現在）

国公立大学	計	現	浪	東京都立保健科学大学	1	1	高千穂商科大学	1	1	1	武蔵野美術大学	1	1	1	国際医療福祉大学	1	1	1		
北海道大学	1	1		都留文科大学	3	1	2	拓殖大学	2	2	明治大学	44	20	24	日本福祉大学	1	1	1		
北海道教育大学	1	1		私立大学	計	現	浪	玉川大学	1	1	明治学院大学	13	6	7	同志社大学	2	2	2		
旭川医科大学	1	1		青山学院大学	17	10	7	中央大学	51	20	31	明治薬科大学	6	3	3	立命館大学	2	2		
東北大学	1	1		亜細亜大学	3	1	2	津田塾大学	12	6	6	立教大学	19	15	4	文部省所管外の大学校等	計	現	浪	
山形大学	1	1		大妻女子大学	2	2		帝京大学	1	1	立正大学	1	1		防衛大学校	1	1	1		
茨城大学	1	1		学習院大学	14	6	8	東海大学	4	1	3	ルーテル学院大学	1	1		ネパダカリフォルニア大学	1	1	1	
筑波大学	3	1	2	学習院女子大学	4	1	3	東京家政大学	1	1		早稲田大学	60	28	32	短期大学	計	現	浪	
埼玉大学	2	2		北里大学	5	2	3	東京経済大学	4	1	3	麻布大学	4	1	3	神奈川県立外語短期大学	1	1		
千葉大学	5	5		共立女子大学	4	2	2	東京工科大学	1	1		神奈川大学	3	2	1	青山学院女子短期大学	3	3		
東京大学	8	2	6	杏林大学	5	2	3	東京女子大学	8	5	3	関東学院大学	1	1		京都女子大学短期大学部	1	1	1	
東京医科歯科大学	1	1		国立音楽大学	1	1		東京女子医科大学	1	1		聖マリアンナ医科大学	1	1		共立女子短期大学	1	1		
東京外国語大学	3	1	2	慶應義塾大学	22	15	7	東京女子体育大学	1	1		東洋英和女学院大学	2	1	1	駒沢女子短期大学	3	3		
東京学芸大学	12	6	6	工学院大学	4	2	2	東京電機大学	14	14		フェリス学院大学	1	1		実践女子短期大学	1	1	1	
東京農工大学	6	6		國學院大学	7	2	5	東京農業大学	2	1	1	跡見学園女子大学	1	1		昭和女子大学短期大学部	1	1	1	
東京芸術大学	1	1		国際基督教大学	2	2		東京薬科大学	5	3	2	埼玉医科大学	1	1		明治大学短期大学	2	2		
東京工業大学	6	4	2	国土館大学	2	1	1	東京理科大学	36	14	22	東京国際大学	1	1		立教女学院短期大学	1	1		
東京水産大学	3	2	1	駒澤大学	8	3	5	東邦大学	4	2	2	獨協大学	9	2	7	専修学校・各種学校等	計	現	浪	
お茶の水女子大学	3	2	1	芝浦工業大学	8	3	5	東洋大学	18	5	13	文教大学	3	1	2	西武学園医療技術専門学校	1	1	1	
電気通信大学	5	4	1	上智大学	15	8	7	二松学舎大学	1	1		文京女子大学	1	1		東京工学院専門学校	1	1	1	
横浜国立大学	1	1		昭和女子大学	1	1		日本大学	35	7	28	明海大学	2	1	1	日本デザイン学院専門学校	1	1	1	
新潟大学	2	2		昭和薬科大学	2	1	1	日本社会事業大学	2	2		麗澤大学	1	1		日本動物学院専門学校	1	1	1	
山梨大学	2	2		白百合女子大学	1	1		日本獣医畜産大学	2	2		岩手医科大学	1	1		その他の専門学校	1	1	1	
信州大学	1	1		成蹊大学	19	10	9	日本女子大学	8	6	2	分類				計	現	役	浪	人
静岡大学	1	1		成城大学	5	1	4	法政大学	27	12	15	4年生大学				728	303	425		
三重大学	1	1		聖心女子大学	1	1		武蔵大学	17	7	10	文部省所管外の大学校等				2	1	1		
琉球大学	1	1		専修大学	11	4	7	武蔵工業大学	20	2	18	短期大学				14	11	3		
東京都立大学	16	7	9	大正大学	3	3		武蔵野音楽大学	1	1		専修学校・各種学校等				5	3	2		
東京都立科学技術大学	2	1	1	大東文化大学	2	1	1	武蔵野女子大学	2	1	1	計				749	318	431		

平成11年3月卒業生数 322名

有線七宝 石坂 久美子さん

7 回生（S 30年卒）B 組

女子美術大学に学ばれた石坂さんは、在学中から、絵画とは違った独特の色合いとフォルムを持つ「七宝」に魅かれ、自分でも作ってみたいと思っていたそうです。結婚され、子育てに追われている最中にもその思いは続き、教室に通い、作品を作り続けていました。

お子さんが手離れした昭和48年、ご主人の転勤先の鳥取で七宝の良き師に巡り会い、さらに研鑽を積んだ結果、その技量を認められ、七宝作家協会に推薦され本格的な七宝人生が始まりました。

東京に戻ってからも日本伝統工芸展入選を目指して創作活動続け、昭和63年春「伝統工芸新作展」に入選、平成6年秋には最高峰の「日本伝統工芸展」入選を果たしました。

石坂さんは、秋の協会展に出品する作品の構想をまとめながら、「七宝は奥が深い。これからも

初めて出会った頃のみずみずしい感動を忘れず、チャレンジを続けます」と話してくださいました。



有線七宝蓋物「季」
平成8年第36回伝統
工芸新作展出品

石坂さん

●石坂さんが出品されます●

第33回日本七宝作家協会展
国際展

会 場 上野の森美術館
会 期 99年11月4日～9日
主 催 (社)日本七宝作家協会
上野の森美術館



平成10年度（11年3月）卒業生 同窓会幹事氏名

平成11年度退職・転出入職員